2009 年 12 月 17 日

兵庫県立大学大学院
会計研究科をご支援頂いている皆様

兵庫県立大学大学院
会計研究科長

平成 21 年度公認会計士試験の結果および就職の状況についての所感

このたび、平成 21 年度公認会計士試験の結果が発表されましたので、本研究科の状況をご報告します。

本研究科では、平成 21 年 3 月に第 1 期生 37 人が修了しました。そのうち 14 人が今年度の短答式試験を受験し、10 人が合格しました。そして、昨年度の合格者 3 人を加えた 13 人が論文式試験を受験し、7 人が合格しました。また、在学生は、4 人が今年度の短答式試験に合格しました。そして、昨年度の合格者 1 人を加えた 5 人が論文式試験を受験し、2 人が合格しました。論文式試験に限れば、受験者 18 人のうち、9 人が合格したことで、合格率は 50%でした。

今年度の試験は、平成 18 年度から実施されている新試験制度に限ると、昨年度の合格者 3,024 人から、今年度の合格者 1,916 人へと大幅に（36.6%減）に減少し、論文式試験の合格率は 35.7%（受験者 5,361 人）、願書提出者に対する合格率は 9.4%になりました。また、公認会計士・監査審査会の合格者調によれば、合格者のうち、会計専門職大学院修了生は 97 人、会計専門職大学院在学生は 31 人です。今年度は、新試験制度が始まって以来、最も狭き門になったといえます。このような中、最終的に 9 名が合格したことは、学生諸君の努力と研鑽はもとより、大学関係者、さらに本研究科の教育にさまざまな形でご協力いただいている方々のおかげと感謝しております。

また、合格者の就職につきましても、9 人全員が監査法人へ内定し、旅立ちの時を待っています。新聞報道（『日本経済新聞』平成 21 年 12 月 3 日の記事）によれば、大手監査法人の新人採用が 1,090 人と、ほぼ公認会計試験合格者の半数となる中で、全員が希望通りに就職できるということは、恵まれたことだと思っております。これも皆様のご理解とご支援の賜物と感謝申し上げます。

本研究科の開設後 3 年が経とうとしておりますが、本研究科からの公認会計士試験合格者は、合計 15 人となりました。もとより公認会計士試験の合格は、本研究科が目指している会計専門職業人養成の一側面にすぎませんが、このような形で教育成果を公表することは、社会的責任という意味からも重要なことであると考えています。本研究科は、「現場で生きる実践知と健全な判断力をもつ会計プロフェッションの育成」という目的達成に、最大限の努力を払う所存です。皆様におかれましては、今後とも、本研究科に一層のご理解とご支援を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。